

## 開館へ向けての工事開始

三宅 隆

県立の博物館「ふじのくに地球環境史ミュージアム」は、来年の平成 28 年 3 月下旬の開館予定まで 4 ヶ月を切り、開館に向けた各種工事が本格化してきました。

### 外構・外壁工事

元校舎の外壁のクラック補修や塗装のため、建物全体が枠場で覆われ、作業が始まっています。中庭の池周辺やゲートからの通路、館入口周辺も改修されています。屋上には一部太陽光発電設備が設置されます。

### 内装工事

展示室以外の部分の部屋も、2 階の展望のいい部屋を「図鑑カフェ」として整備、3 階の元教室の各部屋も、収蔵室、実験室、工房などに改修、整備されるようで、ほかに館内サインの設置が進められています。

### 駐車場の増設

初年度を含めて、多くの入館者が来館しやすいように、現在確保している駐車場に加え、グラウンドの一部を、野球場を除いて駐車場として利用するそうです。完成すると 200 台くらいが駐車できるようです。

さらに確定ではありませんが、JR 静岡駅より「しずてつジャストライン」がミュージアム敷地内まで運行してもらえるように交渉中だそうです。

### 展示関係工事

常設展示室は 10 か所あり、部屋毎にテーマにあった標本等の展示のため、どのような内容や展示にするのかの検討がなされており、展示業者が入って最終調整と工事が行われています。主な展示テーマと内容ですが、

#### 1. 地球環境史との出会い

博物館の名前になっている「地球環境史」とは何かを、パネルや標本で示し、地球 46 億年の歴史と人類の関わりから、人と環境の歴史を学ぶ部屋です。

#### 2. ふじのくにのすがた

自然の脅威と恵みを併せ持つ静岡県の今の姿を、経済や農林水産業、地域の文化などから紐解く部屋です。

#### 3. ふじのくにの海

静岡県の多様な海洋環境に見られる水生生物の標本を展示し、豊かな海の幸などを紹介する



改修中の外構工事

部屋です。

#### 4. ふじのくにの大地

高山から海岸まで多様な生態系をもつ静岡県の自然と生物、里山を始めとするそれぞれの多様性や人との関わりを展示する部屋です。

#### 5. ふじのくにの環境史

縄文時代から現代にいたる静岡県の人と自然の関係を、遺跡の発掘物などから紹介する部屋です。

#### 6. ふじのくにの成り立ち

静岡県の地質や地形など、その成り立ちを、岩石、鉱物、化石などの標本を通じて、理解してもらう部屋です。

#### 7. ふじのくにの生物多様性

現在、ミュージアムに収蔵してある標本を沢山展示して、国内でも有数の生物多様性の宝庫である静岡県の生物を紹介する部屋です。

#### 8. 生命のかたち

ミュージアム所有の種々な骨格標本を展示し、骨から見る生命の進化を説明する部屋です。

#### 9. ふじのくにと地球

地球の歴史に比べてあまりにも短い人類の歴史。しかしその人類が地球環境に大きな影響を与えている。そんな問題点を検証し問いかける部屋です。

#### 10. ふじのくにと未来

これからの地球環境に、人類そして静岡県民はどうしていったらいいのか？ 未来へ向けてのヒントを勉強できる部屋です。

その他、2 か所の特別展展示室が予定されています。

これらの工事は、2 月下旬から、3 月中旬までに終了予定で、開館準備は最終段階に入ってきています。